千葉県

第４０回九都県市合同防災訓練

「防災の日」の令和元年９月１日（日）首都圏の九都県市（埼玉県･千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）と国が連携し、市民や行政、防災関係機関が協力し、訓練を通して災害対応能力を高めるため、毎年実施している標記の訓練が船橋市高瀬町運動広場・他で行われました。

船橋市では 31 年ぶりとなる今回の訓練には、170 機関、8000 人の参加で大規模に行われ、国からは安倍首相や防災担当の関係大臣も参加し、森田健作千葉県知事、松戸徹船橋市長と共に会場内を視察しました。

本訓練は、県北西部を震源とするマグニチュ･ド 7.3 の直下型地震（船橋市震度 6 強）が起きた想定で、様々な訓練が実施され、倒壊した建物や、横転した車両から救出した負傷者を応急救護所に運ぶ救助訓練、海へ落水した人をヘリや船舶で捜索の上救助する訓練、都市型災害を想定した訓練や、ボランティアセンタ･運営訓練等が行われました。

本会も公益事業の一環として毎年参加し、医師・看護師・ＤＭＡＴと協力し、救護所に搬送されてきた負傷者のトリア･ジ・応急救護にて、外傷に対する日ごろの業務を生かし迅速かつ適切に対応していました。

閉会式の挨拶で、安倍首相は「多くの参加者による大規模な訓練が出来たことは大変意義深い、災害に遭遇した際には、自らの命は自らが守るという意識を持つことが重要」と講評されました。

（広報員　渡辺勇）

接骨
千葉県柔道整復師会

公益社団
千葉県柔道整復師会
日本赤十字社 千葉県支部
接骨